

先生各位

## 新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 平成 29 年 4 月 24 日（月）受付分より

《検査要項》

検査項目名称	男性 AICS (5 種)	女性 AICS (6 種)
検査コード	7245	7246
JLAC10	該当なし	
検体量	血漿 0.5mL	
保存・容器	必凍・E1→A2	
実施料（判断料）	未収載	
所要日数	12 ~ 16 日	
検査方法	LC/MS 法	
基準値	設定なし	
備考	血液中のアミノ酸濃度から、胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、前立腺がん罹患しているリスクを評価します。	血液中のアミノ酸濃度から、胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん、子宮がん（子宮頸がん・子宮体がん）・卵巣がん罹患しているリスクを評価します。 注）子宮がん（子宮頸がん・子宮体がん）・卵巣がんについては、いずれかのがんであるリスク評価はできませんが、それぞれのリスクについて区別することはできません。

## 《解 説》

血液中には40種類以上のアミノ酸が含まれており、健康な人の血液中のアミノ酸濃度は、それぞれ、一定に保たれるようにコントロールされています。しかし様々な病気になると、体の代謝バランスが変化し、一定に保たれている血液中のアミノ酸濃度のバランスも変化します。

本項目は、血液中のアミノ酸濃度を測定することで、健常人とがん患者のアミノ酸濃度のバランスの違いを解析し、現在がんに罹患しているリスクを評価する検査です。

## 《検体採取方法》

- ① EDTA-2Na入り採血チューブにて血液約5mLを採取。
- ② 採血直後、血液を2～3回軽く転倒混和（ローラーでの混和は行わないこと）。
- ③ 混和後直ちに（1分以内）採血チューブを氷水中（血液の液面まで氷水につかる状態）で冷却（15分間以上、遠心操作まで冷却）。
- ④ 採血から8時間以内に冷却条件で遠心分離（4℃、3,000回転、15分）または通常遠心分離（3,000回転、15分、ローターが昇温していないこと）。
- ⑤ 遠心後、直ちに上清の血漿を血液との界面に触れないように血漿上清の中央部から採取し、分注。
- ⑥ 分注後、血漿を4時間以内に凍結保存。

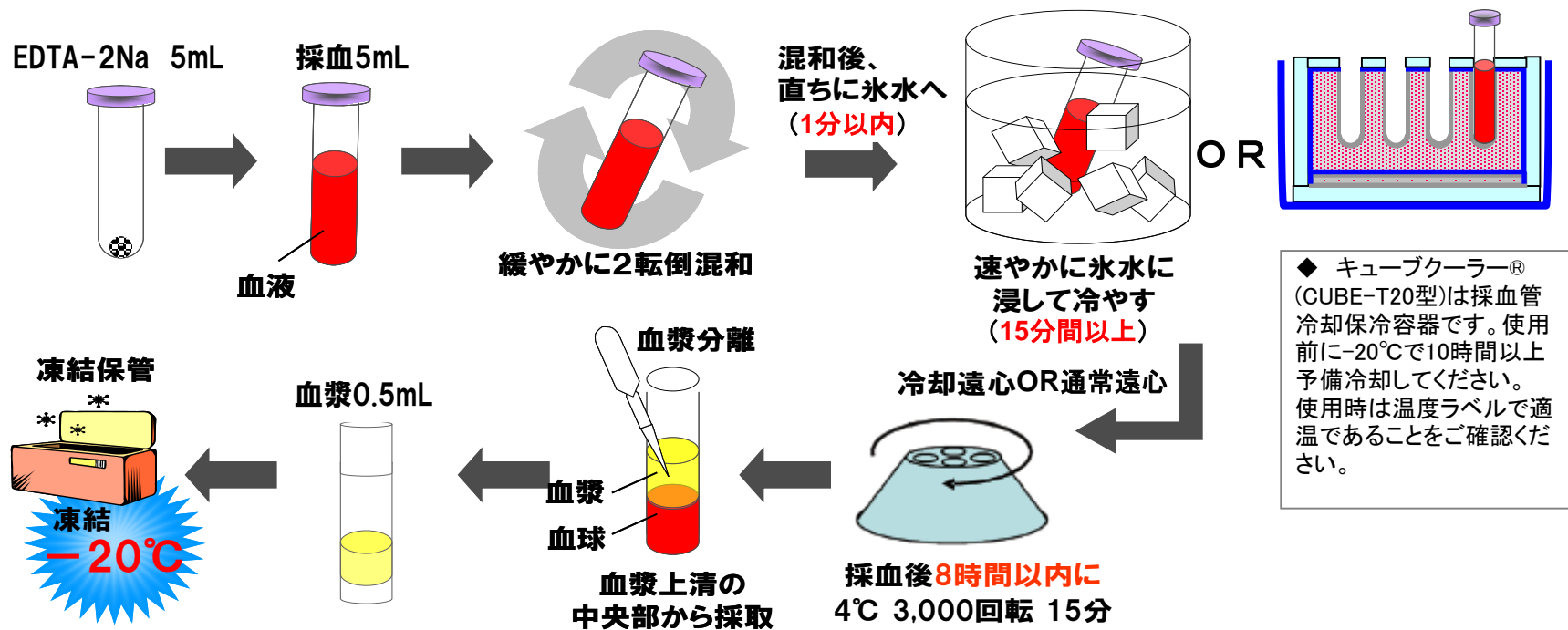
## 《注 意》

- 本項目は、下記年齢の日本人（妊娠されている方を除く）を対象として開発された検査です。これらの方以外のAICS値は評価対象外となります。ご依頼の際は、性別・年齢を必ず明記してください。

対象がん	対象年齢
胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん	25歳～90歳
前立腺がん	40歳～90歳
子宮がん（子宮頸がん・子宮体がん）・卵巣がん	20歳～80歳

- 検査前8時間以内に、水以外（食事、サプリメント等）は摂らないで、午前中に採血してください。
- 検査時に妊娠されている方、授乳中の方、がん患者（治療中を含む）の方、先天代謝異常の方、透析患者の方は、AICS値に影響がありませんので検査は受けられません。
- 血漿（EDTA-2Na）以外の材料は受託できません。
- 本検査結果は、その他の検査結果を併せて考慮し総合的に判断してください。

# AICS 検体処理方法



1. EDTA・2Na入り採血チューブにて血液約5mLを採取してください
2. 採血直後、血液を2~3回軽く転倒混和してください(ローラでの混和は行ないてください)
3. 混和後直ちに(1分以内)採血チューブを氷水中(血液の液面まで氷水につかる状態)あるいはキューブクーラー®で冷却(15分以上、遠心操作まで冷却)してください
4. 採血から8時間以内に冷却条件で遠心分離(4°C、3,000回転、15分)または通常遠心分離(3,000回転、15分、ローターが昇温していないこと)してください
5. 遠心後、直ちに上清の血漿を血液との界面に触れないように血漿上清の中央部から採取し、分注してください
6. 分注後、血漿を4時間以内に凍結保管してください